

PHYSIO RADIO STIM

高周波温熱機器 フィジオ ラジオスティム

パワフルな温熱と、
コンパクトデザインが融合

RF+ES
温熱+電流

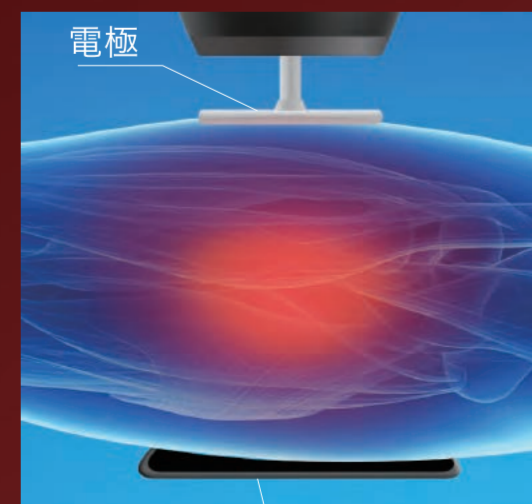
FUNCTION
機能性

COMPACT
コンパクト

握りやすいプローブによるラジオ波温熱(0.3MHz、0.5MHz)に加え、固定できる腹部パッドによる温熱(1MHz)を標準装備。さらに電流の同時出力コンビネーションも可能にした、次世代を担うハイグレード高周波温熱機器です。



施術例



施術イメージ

プレートアース

**危険**

下記のような医用電気機器との併用は、誤作動をまねく恐れがありますので絶対に使用しないでください。

- ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器
- 人工心肺等の生命維持用医用電気機器
- 心電計等の装着型医用電気機器

**警告**

下記のような方、または部位への使用は絶対にしないでください。

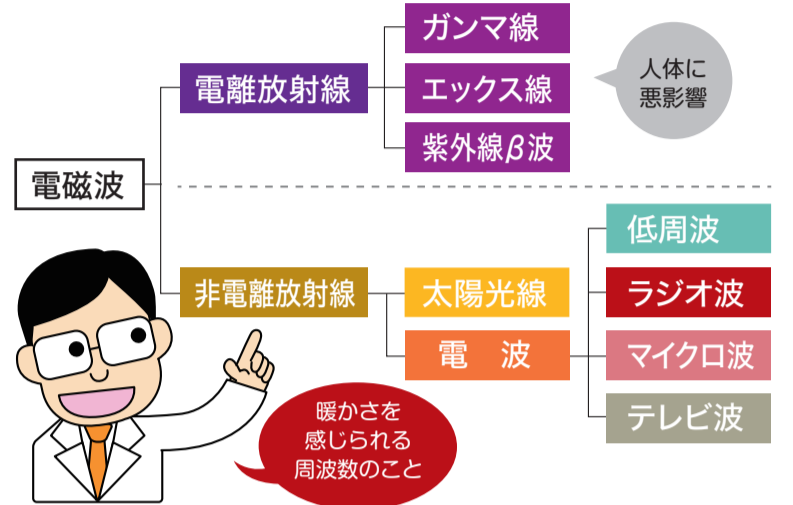
- 体内に金属などを埋め込んでいる方（歯科矯正器具を含む）
- 妊産婦
- 高血圧患者
- 悪性腫瘍患者
- 心臓疾患患者
- 知覚・温感障害患者
- 結核患者
- 急性（疼痛性）疾患患者
- 乳幼児や意思表示の出来ない方
- 頭部、眼球、脊椎
- 生殖器
- 月経時の腹部
- 無痛覚部位
- 出血部位及び血栓、動脈硬化などのある部位
- 皮膚疾患のある方
- 皮膚の損傷、炎症部位
- 関節及び骨の炎症部位
- その他医師が不相当と判断した方

ソチオリンピックでも話題になった

ラジオ波温熱って？

Q ラジオ波って？

医学分野で利用されているラジオ波は 300kHz ~ 6MHz の高周波のことを指します。電波はその周波数から低周波・ラジオ波・超短波・極超短（マイクロ）波・赤外線・X線などに分けることができます。



Q どんな作用があるの？

お風呂が気持ち良いのと同じようにラジオ波温熱もまた体を温めることを目的にしています。違いは表面を温めるだけでなく、体の内部から熱を発生させる仕組みにより、体の深部から温められることで、また持続効果も長いことが特徴です。



Q どんな風に使うの？

ラジオ波温熱機器は体に良い作用を与える範囲で設計されていて、取り扱いが専門の人が行います。電磁波による影響もよほど長時間でない限り安心して使用することができます。目安は使用目的によって変わりますが、数分～数10分程度です。



Q どんなところで使われているの？

ラジオ波温熱は十年以上前からエステ業界などで、主に女性向けに、脂肪を燃やして痩せる目的で幅広く使われてます。それが近年になって、痛みや怪我の予防などにも応用されるようになり、プロスポーツ選手が愛用することが多くなったり、病院・接骨院などでも使われることが増えてきました。

最近ではソチオリンピックで、選手をサポートするマルチサポートハウスに導入されたことがTVや新聞で話題になりました。

